



花緑輝

令和2年度
学校報8月号②
大仙市立
太田中学校

インターナショナルデーが実現

互いを認め合い **広い視野で考え** 地域から行動する生徒の育成
「自立」「対話」「貢献」



○これからの生徒にはグローバル（地球規模）な視野をもつことが期待されています。ただ、昨年度の全国学テ質問紙調査の「海外のことに對する関心」の項目では、**秋田県平均 > 全国平均 > 太田中生平均** という結果でした。こうした現状を踏まえ「なんとかしなければ」と2年越しの“International Day”に取り組んでくれたのが国際教育担当の高橋苑子先生と3年部の職員です。まさに学校教育目標の真ん中の部分にフィットする企画でした。

＜ゲスト＞＊ホスト役のゼイン先生と合わせて「さあ、ゼインオールスターズ」

メーガン先生（カナダ）	大曲小
ヘザー先生（イギリス）	大曲南中
キャシー先生（オーストラリア）	平和中
キラ先生（アメリカ）	仙北中
セリーン先生（シンガポール）	大曲西中

○市内各校のALTの先生方からおいでいただき、それぞれ講座を担当していただきました。また3年生は、英語の時間の学習の成果

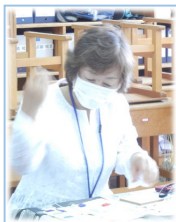
を試すべく、日本文化等についてプレゼンを行いました。



【ヘザー先生は元舞台女優】



【お礼に太田のお米を贈呈】



「聞くだけではなく、自分たちから発信する双方向のやり取りが見られました。それに、自分の思いもアドリブで入れて、しかも笑顔で！子供たちが外国の『知らない』に気づき、『知りたい！』と思うきっかけとなったと思います。」（当日来校し、自らもアポリジニアートに挑戦してくださいました市教委の須田教育アドバイザー）

田沢湖駅伝も中止に



◇コロナ禍で、仙北市で開催予定だった「秋田ふるさとラン2020」に続いて、伝統の田沢湖駅伝が中止になってしまいました。今夏、学校の代表として苦しい練習に励んでくれた選手諸君には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

◆「本番で練習の成果を出せないのはとても悔しかったけど、夏休み中みんなでお互いに認め合い、励まし合いながら練習をしてきたことで、自分を高めることができたと思う。次のステージにつなげたい。」（3年 清水川選手）

郡中学校陸選手権上大会（7/23）

- ◇共通女子 100mH
第4位 高橋選手（19秒46）
- ◇共通女子 800m
第4位 鈴木選手（2分40秒57）

* 前回の8月号①で上記の記録が抜けていました。お詫びして追加いたします。